

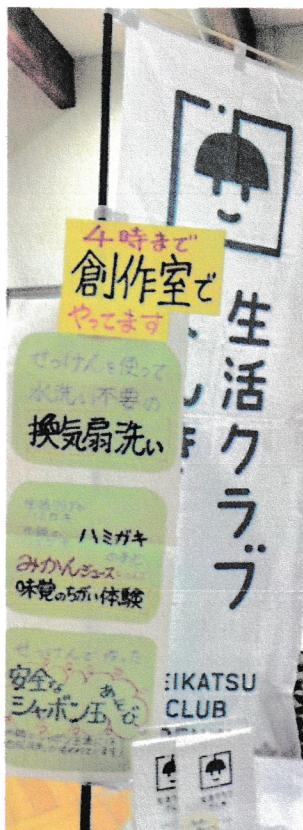
よんでもみてね

【7月号】

大宮ブロック機関紙
第47号2024年
発行責任：大宮ブロック

杉戸支部～支部紹介～

『杉戸アースデー』6/22sat.-6/23sun.

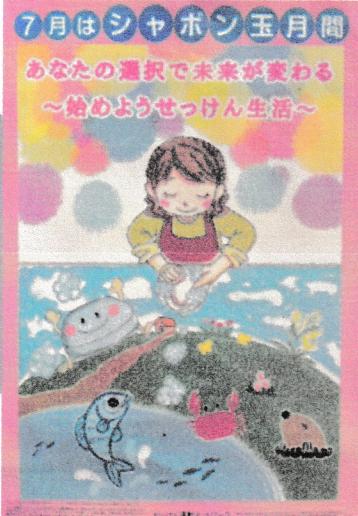


アースデーの結果報告です。生活クラブとしてブースに環境取り組みとしてパネル展示とガラポンで景品を渡し、両日で148人の来場者があり、別室にて粒状石けんによる換気扇洗い、台所用液体石けんでシャボン玉、生活クラブの歯磨き粉と市販の歯磨き粉の違いをみかんジュースで味を確かめてもらう歯磨き実験を行い、参加者が両日あわせて105人でした。

生活クラブの良さを知つてもうための説明で関心ある方が数人いましたが、その中で1名の加入者がありました。職員の丁寧な説明が良かったです。

←
杉戸支部主催のワークショップがたくさん開催されました

使ってる？
せっけん



『シャボン玉月間』

1984年から毎年7月を中心に行なわれている全国統一活動です。

「安全性や環境影響に不安のある合成洗剤の使用をやめて、せっけんを使いましょう」をコンセプトに、ポスター等を用いて、せっけんの使用を広く地域へ呼びかけます。せっけん利用率を

高める活動と合わせて、地域の人々にもせっけんの使用を呼びかけましょう！



←
せっけんを使い換気扇の汚れをきれいにするワークショップ

生活クラブの『せっけん運動』

天然の油脂とアルカリが原料のせっけんは、排出されると洗浄力も毒性もなくなるので環境に悪影響を与えません。一方、合成洗剤の多くは石油からつくられていて、水中での分解にとても長い時間がかかるものもあります。

また、汚れを落とす成分のほかに、いい香りのする香料や洗濯物を真っ白く見せる蛍光増白剤などが含まれています。目には見えないたくさんのが刺激が、赤ちゃんや敏感肌の方にとっては、アレルギーなどを引き起こす原因となるともいわれ、また、魚などの水棲動物の生態系への影響も心配されています。

生活クラブのせっけん運動は、「合成洗剤の使用を止めて、せっけんを使いましょう」として「人体への影響、河川や海などの自然環境を守りましょう」という運動です。このせっけん運動をとおして、「私たちは環境汚染の被害者でもあると同時に、加害者でもある」ことに気付き、自分自身のライフスタイルを少しずつ変えていく、そんな活動もあります。

生活クラブでは、せっけんの魅力を新たな視点から再発見し、幅広い世代に伝えていくことを目的に、2023年に日本大学芸術学部(以下: 日藝)と産学連携プロジェクトを実施しました。日藝の学生ならではの感性が光る動画、ポスター、冊子を制作しました。これらの各種コンテンツは、生活クラブ組合員によるせっけん運動を広げるための活動で使用されます。

←プロジェクトの詳細は左記の2次元コードよりぜひご覧ください。



生活クラブ×日藝
プロジェクト詳細
はこちらから↑↑

